

定期作況報告

(平成23年10月20日現在)
上川農業試験場天北支場

I 気象概況

9月下旬から10月中旬までの気象は以下のように推移した。

9月下旬：平均最高気温が20.0℃(対平年比+2.1℃)、平均最低気温が10.4℃(+2.0℃)と平年より高かったため、平均気温は15.2℃(+2.2℃)と平年より高かった。

降水量は24.0mm(83%)、日照時間は63.2時間(109%)、畑地温は13.7℃(-0.1℃)と平年並であった。

10月上旬：平均最高気温が15.0℃(-1.3℃)、平均最低気温が6.7℃(-0.8℃)といずれも平年よりやや低かったため、平均気温は11.0℃(-1.3℃)と平年よりやや低かった。降水量は28.0mm(91%)、日照時間は51.8時間(108%)と平年並であった。畑地温は10.3℃(-2.4℃)と平年より低かった。

10月中旬：平均最高気温が15.7℃(+1.5℃)、平均最低気温が7.9℃(+2.8℃)と平年より高かったため、平均気温は11.8℃(+2.7℃)と平年より高かった。降水量は16.5mm(56%)と平年より少なく、日照時間は47.3時間(109%)と平年並であった。畑地温は9.9℃(-1.3℃)と平年よりやや低かった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は12.7℃(+1.2℃)と平年よりやや高かった。降水量の3旬の合計は68.5mm(77%)と平年より少なかった。日照時間の3旬合計は162.3時間(109%)と平年並であった。畑地温は11.4℃(-1.2℃)と平年よりやや低かった。

4月からの主気象要素の積算値は、平均気温、日照時間、畑地温は平年並に、降水量はやや少なく推移している。

a. 気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	15.2	13.0	2.2	11.0	12.3	△ 1.3	11.8	9.1	2.7	12.7	11.5	1.2
平均最高気温(℃)	20.0	17.9	2.1	15.0	16.3	△ 1.3	15.7	14.2	1.5	17.0	16.2	0.8
平均最低気温(℃)	10.4	8.4	2.0	6.7	7.5	△ 0.8	7.9	5.1	2.8	8.4	7.0	1.4
降水量(mm)	24.0	29.0	△ 5.0	28.0	30.9	△ 2.9	16.5	29.6	△ 13.1	68.5	89.5	△ 21.0
降水日数(日)	4	5	△ 1	4	5	△ 1	4	5	△ 1	12	15	△ 3
日照時間(hrs)	63.2	58.1	5.1	51.8	47.8	4.0	47.3	43.2	4.1	162.3	149.1	13.2
平均畑地温(10cm,℃)	13.7	13.8	△ 0.1	10.3	12.7	△ 2.4	9.9	11.2	△ 1.3	11.4	12.6	△ 1.2
最多風向	ENE			S			SW					
平均風速(m/s)	3.3			3.1			3.5					

注1) 平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2) 平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

3) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4) △印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値(4月21日～10月20日)

	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (℃)
本年	2,654	380	853	2,479
平年	2,515	548	913	2,335
比較	139	△ 168	△ 60	144

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー（3番草）

作況：やや良

事由：9月20日の調査時以降、草丈が平年より高い状態が維持され、収穫時の草丈は平年より9cm高く、乾物収量の平年比は113%と高かった。これは9月上旬にまとまった降雨があり、高温干ばつによる生育への影響が解消した後、9月中下旬の気温が高く推移し、生育が促進されたことによると考えられる。

以上より、3番草の作況はやや良である。

越冬前(10月20日)の草丈は平年より7cm高く、1～3番草の合計乾物収量の平年比は86%であった。

調査項目：

収穫期（月・日）			収穫期の草丈(cm)			10月20日の草丈(cm)		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
10.5	10.11	△ 6	52	43	9	19	12	7

生草収量(kg/10a)			乾物率(%)			乾物収量(kg/10a)				合計乾物収量(kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	指数	本年	平年	比較	指数
786	769	17	22.5	20.7	1.8	177	157	20	113%	1,000	1,165	△165	86%

注) 平年値は前7か年のうち、平成20年(最豊年)及び平成22年(最凶年)を除いた5か年平均値。

2. 放牧型 ペレニアルライグラス（6番草）

作況：平年並

事由：草丈及び乾物収量とも平年並であった。10月上旬から中旬までを平均すると、気温は平年よりやや高く、降水量は平年よりやや少ないが、生育には特に影響はなかったと推察される。

以上より、6番草の作況は平年並である。

1～6番草の合計乾物収量の平年比は90%であった。

調査項目：

草 丈 (cm)		
本年	平年	比較
31	30	1

生草収量(kg/10a)			乾物率(%)			乾物収量(kg/10a)				合計乾物収量(kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	指数	本年	平年	比較	指数
560	555	5	17.1	18.0	△0.9	96	99	△ 3	97	870	967	△97	90

注) 平年値は前7か年のうち、平成18年(最豊年)及び平成22年(最凶年)を除いた5か年平均値。